

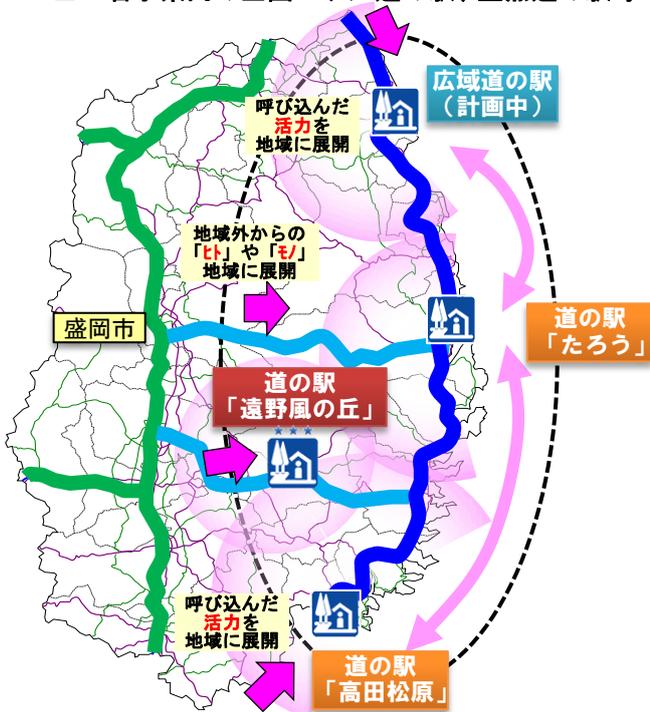
復興道路等の整備による「ストック効果」を紹介します！

【第4回】道の駅と連携した地域創生拠点の形成

岩手県内の「道の駅」

- 県内には現在 32 箇所の「道の駅」が開業しており、道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供のみならず、地域間の交流、観光振興、防災拠点としても広がりを見せています。
- 県内の道の駅から、全国モデル道の駅に「遠野風の丘」、重点道の駅に「高田松原」、「たろう」が選定されています。

■ 岩手県内の全国モデル道の駅、重点道の駅等



**重点道の駅「たろう」**  
 3/21 開通の三陸沿岸道路（仮称） 田老第 2 IC 近接  
 漁業の復興・再生の拠点。三陸沿岸地域のゲートウェイとして、観光資源の情報発信を担う。



**全国モデル道の駅「遠野風の丘」**  
 東北横断自動車道釜石秋田線 遠野 IC 近接  
 全国 6 例のみの全国モデル道の駅に選定される。広域防災拠点として高度な防災機能を分担。



**重点道の駅「高田松原」**  
 H30 年度開通の三陸沿岸道路（仮称） 長部 IC 近接  
 高田松原津波復興祈念公園と一体となった整備が進み、三沿道の活用した東京・仙台方面からのゲートウェイとしての役割。

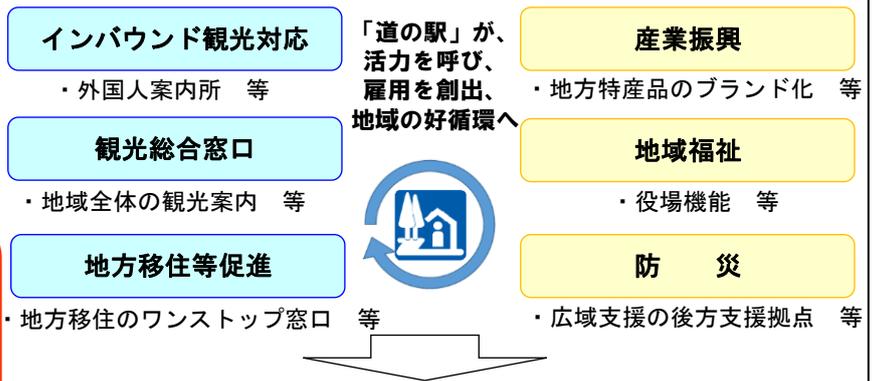


復興道路と「道の駅」の連携によるストック効果

「道の駅」が復興道路等と連携し、新たに生まれる交流・連携による地域外からの活力を地元呼び込むゲートウェイとして機能します。

「道の駅」が地域の活力を呼び込み、雇用の創出など好循環をもたらし、地域創生拠点を形成します。

■ 「道の駅」に期待される様々な機能



『道の駅』による地域創生拠点の形成